

かみみぞの福祉 第100号

心のかよいあう明るい上溝のまちづくり



令和7年
3月1日

編集 広報部会

発行 上溝地区社会福祉協議会 相模原市中央区上溝7-7-17 TEL.042-703-9390 FAX.042-761-1249

祝100号

かみみぞの福祉

ごあいさつ

『心のかよいあう明るい上溝のまちづくり』を目指して上溝地区社会福祉協議会広報紙が区切りの100号発行を迎えることができました。この間、多数の広報部員が紙面編集に携われ、限られた紙面の中で何を伝えるべきかでご苦労されてこられたと推察されます。世界全体に限らず、国内でも過去の常識では考えられないような事象や事件が日常茶飯事に発生し、かつ個々人のニーズも多様化している状況で社会情勢は大きく変化し続けることが予想されます。

上溝地区社会福祉協議会
会長 永野 堅次



NO.1 昭和53年12月25日発行
(上溝地域福祉活動モデル地区推進委員会)

- ・昭和56年9月10日から上溝地区社会福祉協議会発行となる
- ・「独居老人給食慰問事業」開始
- ・毎月第3日曜日が「ふくしの日」決まる

NO.9 昭和57年9月24日発行

100号によせて

まずは広報紙「かみみぞの福祉」の第100号の発行おめでとうございます。

昭和53(1978)年に創刊号が発行されてから46年間にわたり、今回100号という記念号の発行に改めて広報部員と役員の皆様、そして歴代の関係者に敬意と感謝を申し上げます。

私も第70号(平成21年度)から第96号(令和4年度)までの14年間にわたり会長として、広報紙の発行に微力ながら携わらせていただきました。この間、私なりに顧みずと編集企画から取材、執筆依頼、執筆、校正そして印刷発行と、広報部員と事務局の皆さんのご苦労とご尽力には本当に頭が下がる思いでした。

これからも引き続き「内容の充実」と「読み易さ」を追求して地域の人たちから、より「愛される広報紙」となりますよう祈念してお祝いのことばとさせていただきます。

上溝地区社会福祉協議会

顧問 磯 隆司

お問い合わせ先 上溝地区社会福祉協議会事務局 平日午前9時から午後5時

住所: 相模原市中央区上溝7-7-17(上溝まちづくりセンター内) 電話: 042-703-9390 FAX: 042-761-1249



自治会対抗の 「上溝レクリエーション大会」

No.10 昭和57年12月25日発行
・福祉教育モデル地区に
3年間指定される

No.19 昭和60年12月15日発行

福祉教育モデル地区として指定を受け 上溝小学校にて教育活動の様子

No.20 昭和61年3月31日発行
・「クリスマスのつどい」開催
・「かみみぞの福祉」に関する
アンケートの実施
・「第1回ふれあい演芸大会」開催
・「赤い羽根街頭募金」始まる

No.29 平成元年3月31日発行

川田正子さんを迎えて 上溝南小学校にて行った「音楽の広場」

No.30 平成元年6月30日発行
・一円玉募金から福祉募金へ
・「ミニリハビリ教室」始まる

No.39 平成6年2月発行

「男の料理教室」

No.40 平成6年7月発行
・「上溝ふれあい広場」設置
・「こども110番の家」設置

No.49 平成11年3月発行

上溝ひまわりの会による 「ボランティア研修」

No.50 平成11年6月発行
No.59 平成16年3月発行

(各年4月1日現在 推計人口)
参考：相模原市 DX推進課提供資料
「かみみぞの福祉」が昭和53年に発行
されてから5年毎の上溝の人口推移

第60号発刊までの歩みをふりかえる

No.60 平成16年7月発行

- ・「ふれあいサロン上溝」始まる
- ・「上溝地区社協あり方検討委員会」発足
- ・「地域包括支援センター」設置

No.69 平成21年3月15日発行

市消防署の協力を得て行われた
「防災ボランティアスクール」

No.70 平成21年9月15日発行

- ・「高齢者交流会」開催
- ・地域での「敬老会」始まる
- ・「上溝ふくしまつり」始まる

No.79 平成26年3月1日発行

「上溝ふくしまつり」

No.80 平成26年9月1日発行

- ・交流の家「ぶらっと上溝」開設
- ・「幼児と高齢者の運動会」開催
- ・「高齢者相談つなぎの家」設置

No.89 平成31年3月1日発行

「こどもクッキング」オープン

No.90 令和元年9月1日発行

- ・「上溝地区社協70周年実行委員会」発足
- ・折り鶴プロジェクト
- ・「上溝地区社協70周年記念誌」発行
- ・「上溝ボランティアセンター」開設

No.99 令和6年9月1日発行

上溝地区社協70周年記念式典特別記念号

特別号 令和5年1月15日発行

- ・「上溝地区社協70周年記念式典」開催





お宝発見!? ふくしバザー



香り高い本格珈琲 喫茶コーナー



福祉体験スタンプラリー



心つながるハーモニー♪ 歌声喫茶

第9回 上溝ふくしまつり

11月9日(土)、立冬とは思えぬ小春日和に恵まれ、第9回上溝ふくしまつりが上溝公民館で開催されました。4年ぶりの開催だった昨年度に引き続き、今年度も多くの方が来場。各コーナー担当者と笑顔でのおしゃべりが弾みます。買い物、製作、鑑賞、体験、会場中がにぎやかな笑い声に包まれ、交流の輪がまた大きく広がりました。
(服部)



ボランティア上溝高校生大活躍で大盛況!! 各種模擬店



車イス体験



さがみハート展



手づくりしよう! 創作コーナー



福祉事業所販売コーナーとワークショップ



理事研修会

上溝地区社会福祉協議会では、活動のさらなる充実を図るため、毎年、先進的な活動に取り組んでいる社会福祉協議会や団体等を理事が視察しています。

今年度は、令和6年9月24日（火）、たいへんユニークな活動をしている中郡大磯町の東寺真言宗東光院を訪ねました。

東光院は、大磯の町で医療・福祉と仏教という一見不思議な組み合わせの次のような活動をすすめています。

・多くの世代を対象とした
地域食堂「おむすび」

伺ったとき、ボランティアのみなさんが作った昼食を大勢の高齢者が楽しそうにいただいていた。



古井昇空師の熱意溢れる説明

・お互いに救いあう仕組みの
「互救ぶろじえくと」

他人に巻き込まれることで物事を知り、巻き込むことで自分の望みに近づこうとする活動をしています。

・地域包括支援センターと連携し、生活・医療・介護の相談ができる「暮らしの保健室―安養―」
心安らかとなり、身が養われるという意味の「安養」は、仏教用語での「幸福」や「健康」を意味する言葉で、地域の安養の場として開設されています。

古井昇空師の熱意溢れる説明に、お寺でこのような活動が進められていることに、一つ一つ驚くばかりでした。

上溝地区社会福祉協議会の今後の活動に生かしていきたいと思えます。
(永山)



東光院本殿の前で

上溝地区で「人生会議」を開催

恒例となりました福祉講座が、令和6年12月8日（日）に「さがみはらファミリークリニック」理事長の水上潤哉医師に講師をしていただき、上溝地区社会福祉協議会の主催のもと今年も開かれました。

「人生会議」とは、ACP（アドバンスケアプラン）の略称で呼ばれることも多く、自身が「もしもの時」を迎える前に家族、友人等を集め、自身の人生について「意思決定」を話し合っておく会議であるとのこと。

「意思決定」の内容としては、人生の終末期に延命処置はやめる（人工呼吸器を付けたが体が動かない生活はいやだ！）、認知症になったらどうしてほしいか（迷惑かけたくない）、施設に入るか（どうして最後はどこで迎えたいか）として

も自宅で迎えたい！」などが挙げられ、また「意思決定」は年齢を重ねるたびに変化していくものなので、その都度、何度でも会議を行うことを勧めておられます。

講師の水上先生は、「はじめは大学病院で医療の研究に没頭していましたが、患者さん達の人生に寄り添い歩む医療を目指したい」と考え、現在の医療クリニックで患者さんと向き合っておられます。

会場に来ている方々は、先生が誠実な態度でお話されている姿に親しみを覚えたのか、和やかな雰囲気聞いており、水上先生と関係者によるディスカッションにも引き込まれ、活発に質問も出ていました。

みなさんも「人生会議」はじめてみませんか！
(鈴木)



分かりやすく親しみの持てるお話をされる水上先生



ディスカッションも大好評
右から 水上潤哉先生、森繁之氏（認知症サポーター・キャラバンメイト）、日高明夫氏（主任ケアマネジャー）

ふれあい

ささえあい

作の口小学校「みまもり隊」

今回は作の口小学校「みまもり隊」の活動を紹介します。隊の構成はPTA(18名)地域のボランティア(17名)学校とで組織されています。毎朝7時30分～8時10分頃まで子どもたちの登校の安全のために活動しています。アンケートにて活動のようすを伺いました。

◎ボランティアを始めたきっかけは？

※地域で不審者らしき人がいると聞いたから。

※PTAの役員になったり子どもが入学したりしたから。

◎見守る際に心がけていることは？

※笑顔であいさつ(顔を見て、大きな声で)。

※安全に横断させること、子どもたちといっしょに左右確認をする。

※子どもたちの顔を覚えること。

◎みまもり隊に参加して良かったこと

※生活のリズムが整い健康にながっている。

※子どもたちから元気をもらえている。

※近所の方とのあいさつがふえました。

※ボランティア仲間との会話が楽しい、などの感想やご意見をいただきました。

もう一つのボランティア

四ツ谷地区の藤村孝司さんは2年前から「みまもり隊」の活動の前後にごみ拾いをされています。きっかけは「自宅から作の口交差点へ行く間の歩道・車道・垣根にゴミが散乱する様子



ゴミ拾いをする藤村さん

を見て子どもたちに「良からず」と思い始めたそうです。正味40分はかかるということです。集めたゴミの量はビニール袋2つほどになり、夏などはペットボトルが散乱し、とても多くなるとのことでした。

本人いわく「①石②四鳥③自分の健康のため④子どもたちが気持ち良く登校できる⑤ゴミの中には資源になるものもあり有効活用できる⑥ゴミの減量につながる、そして社会福祉道徳につながることを念じております。

作の口交差点の広い道路を子どもたちは整然と並んでの登校でした。危険な場所であることを自覚している様子。中学校へ向うお兄さんやお姉さんたちも、自転車通学や通勤の高校生や大人が行き交う中こうして登下校をくり返していたのでしよう。「みまもり隊」の皆様、子どもたちの為にも御自身の体調に気をつけて続けて頂きたいです。(中島・金光)

福祉募金(9月～11月実施) 合計 627,620円

「福祉募金の一部を災害地への義援金とする」という目的を含む募金活動です。

皆様より多大なるご協力をいただいた募金は、地域福祉活動に活用させていただきますとともに、今年は10万円を令和6年能登半島地震災害義援金及び令和6年9月能登半島大雨災害義援金に送付いたしました。

<募金等報告>

- ◎日本赤十字会員募集 946,250円
- ◎相模原市社会福祉協議会賛助会員募集運動 819,160円
- ◎共同募金 1,316,944円
 - *赤い羽根募金
 - ・戸別 880,562円
 - ・街頭 42,402円
 - *年末たすけあい募金 393,980円

ありがとうございます

- ◆第9回ふくしまつりバザー売上 32,060円
- ◆同喫茶コーナー福祉募金 2,696円
- <寄付>
 - ◆上溝なごみ学級様 ◆健康マージャン有志一同様



表彰

おめでとうございます

【社会福祉功労者に対する厚生労働大臣表彰】
共同募金運動奉仕団体

上溝地区民生委員児童委員協議会

【相模原市】

社会福祉功労者表彰

中澤 世紀 様 (上溝ボランティアグループ しづがき)

【上溝地区敬老事業実行委員会】

地域貢献活動者表彰

篠原 悦男 様 (四ツ谷養寿会 前老人会 会長)
大湊 義之 様 (番田福寿会 // //)
山口 範男 様 (虹吹明友会 // //)
大久保勝三 様 (本久嶽寿会 // //)
石森ヨシエ 様 (丸崎明友会 女性部 会長)
田巻 猛 様 (石橋寿クラブ 副会長・会計・総務)
山口 恵子 様 (まるさきランド)
奥脇 幸枝 様 (上溝ボランティアグループ しづがき)
佐々木正雄 様 (ぶらっと上溝 演芸会)

令和6年度
広報部会員

部会長

永山 一雄

副部会長

中島 今子

部会員

鈴木 富和

金光みどり

田中 充

服部 啓子

—編集後記—

冬の眠りから覚めて春めいて参りました。今回は100号という大きな節目となります。通常の広報紙に合わせて記念誌の部分を増やしております。広報部として100号記念の広報紙発行に関わられましたこと、そして諸先輩からつないで参りましたパトンを次に渡せまことに安堵しております。お目を通して頂ければ幸いです。(金光)